

# ろう者と手話

福岡教育大学  
王 艶麗

# ろう者の人口

厚生労働省が発表している日本の「聴覚・平衡機能障害」の人数は44万7023人。ただし、これには手話を話さない難聴者や中途失聴者が含まれていて、手話を話するろう者の数はこれを下回るはずである。

また、ろう学校に通わないろう者もいるので、この数はやや少ないと言える。ほかにも、日本のろう者人口は約8~9万人という推計など、いくつかの説が唱えられている。発想を変えて、学齢期までに失聴する人の数を手がかりにする方法がある。医学的な傾向として、全人口の約0.08~0.24パーセントが、子どもの時期にすでに失聴しているといわれる。言語を獲得する幼い頃に耳が聞こえていないならば、音声言語よりもむしろ手話に出会い、手話の話し手になるだろうという考え方に基づく。これに従えば、日本の総人口約一億に七五八万人のうち、約一〇~三十一万人がろう者であるという計算になる。もっと簡単に、人口の約0.1%がろう者だとの医学者の見方もある。それを仮定して計算すれば、約十三万人ということになるでしょう。



世界ではどうでしょうか。世界保健機構(WTO)は、世界の聴覚障害者人口を約二億七八〇〇万人と発表しているが、これは多くの難聴者、中途失聴者たちを含む数だと思われれる。人口の約一〇〇〇万人にろう者だと仮定して計算すれば、世界総人口約六八億二九三六万人のうち、手話を話さるる者の数は約六八三万人となる。その規模は、リビアやパラグアイ、ラオスの一国の人口と肩を並べる。

あくまで推定値にすぎないが、日本のろう者が集まれば、ひとつの地方都市くらいの人口になり、世界中のろう者が集まれば、ひとつの国くらいの人口になるといったイメージである。もちろん、ろう者だけの市や国というものはなく、手話を話す人たちは世界各地に点在してきているが、手話を話さるる者の人口は意外に多いと思わないのか。

# 手話について

手話は文法をもち、国によって異なる複数の言語である。聴者も、ろう者も、身体の違いでそれぞれ適した言語を持っている。手話を言語の一つととらえて、ろう者たちの豊かな世界のフィールドワークへ出かけよう。

ご清聴ありがとうございます